

第29回防衛問題セミナー実施概要

国際テロの脅威と対策



平成28年7月25日（月）神奈川県横浜市の横浜情報文化センター情文ホールにおいて『国際テロの脅威と対策』をテーマとして、これまで国際テロ対策や危機管理などの調査・研究に携わってこられた日本大学危機管理学部教授である河本志朗氏を講師としてお招きし「第29回防衛問題セミナー」を開催しました。



主催者挨拶
堀地南関東防衛局長

河本講師からは、これまで各国で発生しているテロについて説明があった後、日本も国際テロとは無縁ではないこと、また、テロ防止には、テロリストを入れない、拠点を作らせない、テロを起こさせないという三原則が重要であるが、テロ対策はこれ一つを行えば万全という対策はなく、そのリスクを少しずつ下げていく、関係するあらゆる主体が当事者意識を持ち、連携してさまざまな対策を重層的に組み合わせて取り組むことが必要との話がありました。

そして、国民の協力が不可欠であり、テロは起こりうること、日常生活の中で常に当事者意識を持って安全に対し目を向けてもらうことが重要であり、オリンピックまで残された時間は短いとの話がありました。

講演後、聴講者から講演の内容について「よく理解できた」という回答が多く、「如何にテロが多いのか、現状が理解できた。テロ対策のポイントが理解できた」、「テロ対策に何年もの不断的努力が必要と痛感、理解できた」、「日本での対策は世界全体の対策なりえると思いました」という多くの感想が寄せられました。

南関東防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動など、わが国の安心・安全、国民の財産を守るという意識をより多くの方々に理解していただけるよう、今後も防衛問題セミナーを開催していく予定です。



講師
日本大学危機管理学部教授
河本 志朗氏